

会議・協議等記録簿

| | | | | |
|--|--|------|------------------|-------------------------|
| 会議名 佐久市保健福祉審議会 | | | | |
| 日 時 | 令和元年11月12日(火) 13:30~14:20 | 開催場所 | 佐久市議会棟 全員協議会室 | 時間 50分 |
| 出席者 | 委員： 堀内ふき、和田裕一、堤雅史、高見澤一伸、大森健、土屋哲章、山岸秋夫、小林光男、小平實、佐藤和夫、両澤正子、木継しちの、春日利夫、廣田典昭、井出裕子、丸山景子、井出進 事務局： 福祉部長、市民健康部長、望月支所長、福祉課長、子育て支援課長、高齢者福祉課長、臼田学園長、健康づくり推進課長、臼田支所企画幹、浅科支所企画幹、高齢者福祉課企画幹、健康づくり推進課保健医療政策係長、高齢者福祉課介護保険事業係長、高齢者福祉課高齢者支援係長、子育て支援課保育係長・子育て支援係長、地域福祉係長、地域福祉係員1名 | | | 委員 出 17名 欠 8名 |
| <h3>佐久市保健福祉審議会</h3> | | | | |
| ≪開会≫ ≪部長あいさつ≫ ≪委員紹介≫ ≪委員会の組織等について≫ ≪会長・副会長の選出≫ 会長に堀内ふき委員、副会長に小平實委員を選出 ≪会長あいさつ≫ 会長 会長に選出された堀内ふきと申します。よろしくお願ひいたします。この審議会は前回に引き続いて務めさせていただくこととなりますが、佐久市の保健福祉施策というのは本当に生活とか、私たちが一番大事にしている子供の事、高齢者の事、障害者の事、そして保健の問題、様々な生活に密着したところを、私たちが総合的に、そして計画的に推進していかなければならないところではないかなと思っています。審議する中で、私たちの意見を佐久市の施策の中に生かしていただけたらと思っています。保健福祉分野は本当に市民生活、今回の災害に関してもそうですし、子育てのための環境づくりとか、大事なことと思います。今日皆さん自己紹介いただきましたけれども、たくさんの多様な職種、立場の方が参加されていらっしゃいますので、いい会議ができるんじゃないかと思っています。どうぞ、佐久市の保健福祉行政の更なる推進におきまして、様々な角度から審議を進めまして、私も一緒に施策を進めていきたいと思っていますので、皆様どうぞご協力のほど、よろしくお願ひいたします。 | | | | |
| 福祉課長 | これ以降につきましては、審議会条例第6条の規定によりまして、堀内会長さんに議長をお願いいたします。 | | | |
| ≪部会に属すべき委員の指名について≫ 各部会の委員については資料記載のとおり | | | | |

《報告事項》

小規模保育事業所について

【子育て支援課長から説明（資料9ページ）】

【質疑応答】

委員 やはり0歳を含め未満児からの入所希望が本当に増えています。ただ働いているから使うということだけではなくて、やはりお母さん支援、家族支援、親支援という形で良く言われますけれど、それが今本当に保育所として果たす役割がすごく大きくなっているのを感じています。小規模の二つですけれども、A型で保育士の方も全部資格がある方ということで、質の高い、未満児ならではの大事な保育を進めていくという意味では、非常に大事な施設だと思います。
質問というか、保育士不足ということが本当に言われていて、私たちも実際にはなかなか見つけられない部分があるんですが、これは二つの私立法人が独自で保育士を増やす、探すという形で進めていくのか、その辺の応援はどうなっているのでしょうか。

所管課長 現時点でこの二つの保育園において探すといったことを伺っております。今後市の方でも、この令和元年度が我々としてもほぼマックスの状態であると、この状態から保育士の募集をかけても最高の状態であるので、保育所の方で見つけていただくということを逆にお願いをしていくという状況です。

会長 働き方改革を進めるにあたってやはり、女性だけでなく本当は男性もなんですけれども、働くためには保育所の整備が必要だと思いますので、お願いいたします。

《報告事項》

高齢者福祉施策について

【高齢者支援課長から説明】

【質疑応答】

委員 9,760人が対象ということで、約一万人ということですね。かなりの人たちに影響がでるんですね。必要なことだと思いますので、必要なところにお金を使わなければいけないと思います。

会長 3会場とあるんですけれども、それはモデル的なのか、それとも全体的に佐久市に割り振ると3会場でいくということなののでしょうか。

所管課長 市内の何カ所ということにつきましては、できれば日常生活圏域の見直しで6圏域にこの4月よりしておりますので、本当は1圏域1カ所の6というのが今年度の一応目標になっておりますが、今のところ3事業所になっていきます。

会長 たぶんそうかなと思いました。きっと良ければそれぞれの地域でもっとここにやっついこうということになるのかなと思います。

会長 フレイル予防と介護予防と両方使っているんですけど、この使い方は国の使い方に合わせてあるんですか。

所管係長 介護予防というのは全体を見た中で介護にならないようにということで、フレイル予防は特に筋力の低下だとかそういうところからの視点で虚弱になっている方が要介護状態になるということで特にその中で特化をしてフレイル予防を中心に挙げていろいろ対策をとっている形になります。

会長 元々の言葉は国の施策が使っている言葉ですね。

所管係長 そうです。

会長 ちょっと混乱するんですけども、多分、要介護・要支援よりフレイルはまたもうちょっと状態がいいので、健康→フレイル→要介護・要支援というイメージをして国は施策をとっているんだなと思います。

会長 何か他にいかがでしょうか。
よろしければ次に、8 その他事項に入りたいと思います。

《その他事項》

第2次佐久市健康づくり21計画の中間評価について

【健康づくり支援課長から説明】

【質疑応答・意見なし】

会長 このあとの部会でそれぞれについて討議が行われるのだと思いますが、よろしいですか。
それでは、色々ありがとうございました。以上を持ちまして会議事項は全て終了しました。ありがとうございました。

《閉会》